



SB57 スタンダードトレーナー

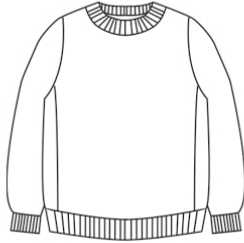
Standard Trainer

クルーネック

Vネック



基本デザイン



脇別布デザイン



基本デザイン



裾フリルデザイン

個人利用目的以外での複写や、転売等をご遠慮ください。

Please do not copy and resell

パターンショップ Shell button

<http://www.shellbutton.net/>

Copyright(c)2009- pattern shop Shellbutton all rights reserved

縫い代について

パターンは全て縫い代込になっています。

パターン内にある○で囲んだ数字は、縫い代を表します。

その数字文、出来上がり線から縫い代を足して、型紙を作成しています。

出来上がりサイズ

	着丈	身幅	肩幅	袖丈
90	34	62	24	29
100	39	65	26	35
110	43.5	70	28	40
120	46	73	30	42
130	50	78	32	46
140	53	83	34	50
150	59	87	36	53



パターンショップ Shell button <http://www.shellbutton.net/>

Copyright©2009 pattern shop Shellbutton all rights reserved

必要用尺

【用尺】生地幅 140cm以上

	基本 デザイン	裾フリル デザイン	脇切替デザイン		リブ
			表地	別地（脇身頃）	
90	0.7	0.5	0.5	幅 30cm × 0.3	4.5cm W 幅 0.4m
100	0.8	0.6	0.6	0.3	
110	0.9	1.0	0.6	0.4	
120	0.9	1.0	0.6	0.4	
130	1.2	1.1	1.1	0.4	
140	1.2	1.2	1.2	0.5	
150	1.3	1.3	1.3	0.5	

※脇切り替えデザインの別布もリブで取る場合は、別布用尺+リブ用尺でご用意ください。

※生地幅が広い場合、着丈分で作れる場合もございます。

前後身頃と袖がを横一列で並べて配置できれば、大丈夫です。

※ニットは、水通しで若干縮む可能性がありますので、余裕を持ってご用意下さい。

※ニット用の針、ニット用の糸（レジロン）を必ずご使用下さい。

縫い方手順

- ニット用のパターンです。伸びない生地は使用できません。
- ロックミシンをご使用の場合は、縫い代をかがり幅に合わせて切り落としながら縫います。
- **普通の本縫いミシンで作成の場合は、その都度ジグザグミシンなどで縫い代を2枚合わせて端処理をしてください。**
 ロックミシンでの縫い方を基本的には書いていますので、ロックミシンで端処理が必要ない所は説明を省いています。
- レジロンなどのニット用糸とニット用針を使用して下さい。
- **家庭用ミシンで縫うと伸びてしまいますが、霧吹きをしっかりとかけるか、スチームを当ててアイロンで整えると元に戻ります。**

※ 端処理とは、縫い代をロックミシン及びジグザグミシンで処理することを表します。

※ 身頃にステンシルをしたり、アップリケしたりする場合は、裁断後まえもってしておきましょう。



1.肩に伸び止めテープを貼ります。

後身頃の両肩線に、伸び止めテープを貼ります。
縫い代より少し広め（1. 2cm 程度）に貼ってください。

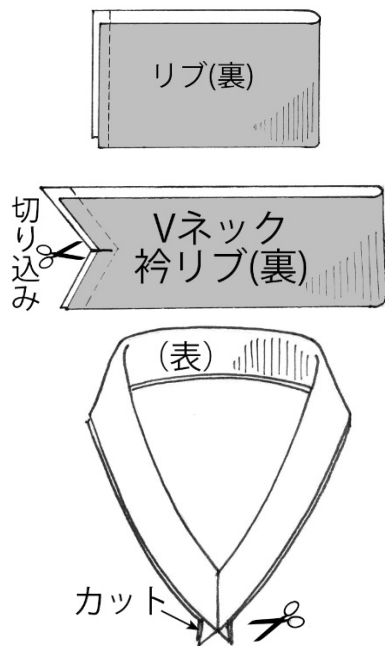
2.肩を縫い合わせます

前後身頃の肩を中表で縫い合わせます。
縫い代は、後身頃側へ倒します。

3.リブを輪にします。

衿ぐり、袖口、裾のリブをそれぞれ中表で縫い合わせ、縫い代は割ります。

Vネックの衿リブは、前中心をVの字に縫い合わせ、中央の角部分に5mm程の切り込みを入れます。表に返し、半分の幅になるように折ります。Vネックの衿リブは、先の余分な縫い代をカットします。



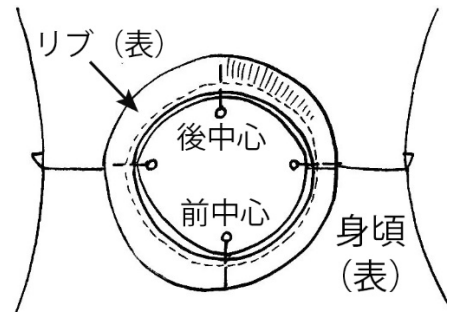
4.衿ぐりのリブを縫い付けます。

【クルーネック】

左肩にリブの接ぎ目を合わせ、リブを伸ばしながら合印がずれないように縫います。

縫い代は身頃側に倒し、お好みでコバステッチなどで押さえて下さい。

(右上挿絵参照)

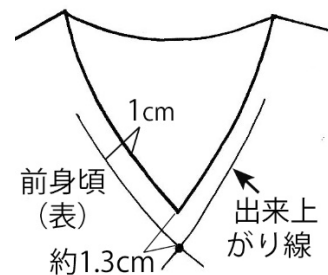
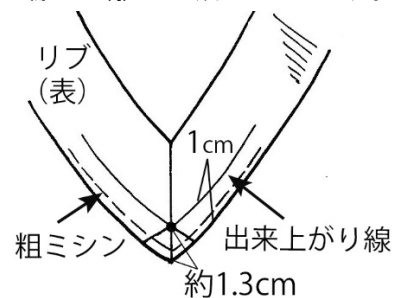


【Vネック】

①前中心の接ぎ目がずれないように数センチ仮止めしておくといいです。

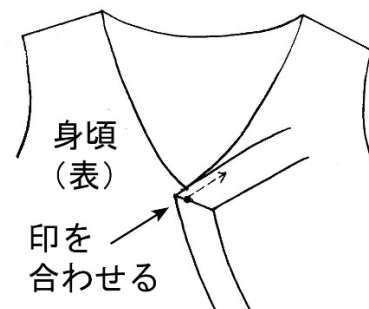
②衿と身頃それぞれに、出来上がり線が交差する位置（Vの先になる位置）に印をつけます。

約1.3cm端から離れた所になります。



③印がずれないように身頃と衿を重ね、V先から縫い始めます。

ロックミシンをお使いの方も、ここは本縫いミシンで縫われた方が綺麗に仕上がると思います。



④リブを伸ばしながら合印がずれないように一週縫います。

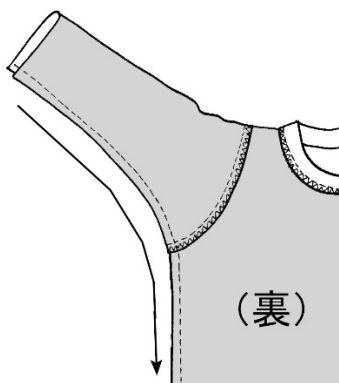
ブイの先の身頃のみ、縫い代に切込みを5mm程入れます。生地が緩い生地などは不要です。生地のひきつれ具合を見ながら切り込みを入れて下さい。

5.袖を縫い付けます。

身頃と袖を中表に合わせ、縫い合わせます。縫い代は身頃側へ倒します。

6.脇と袖下を縫い合わせます。

袖口から裾まで、一続きで縫ってください。縫い代は、後身頃側へ倒します。



7.裾と袖口のリブを縫い付けます。

リブの方が少し短くなっていますので、合印をお合わせながら、少しリブを引っ張るようにして縫い合わせて下さい。

縫い代は、身頃側へ倒し、表からミシンで押さえてください。

袖口は細いので、縫い代を押さえにくいと思います。無理なら、押さえる必要ありません。



脇の切り替えデザインの縫い方手順

詳しい説明記載がない部分は、基本の縫い方と同じです。

1.肩に伸び止めテープを貼ります。

2.身頃と脇の別布を縫い合わせます。

身頃と脇の別布を中表にして縫い合わせます。別布の前後を間違わないように注意してください。縫い代は身頃側へ倒し、表からコバステッチで押さえて下さい。



3.肩を縫い合わせます。



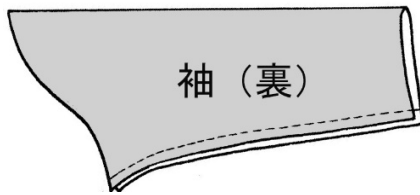
4.リブを輪にします。

5.衿ぐりのリブを縫い付けます。



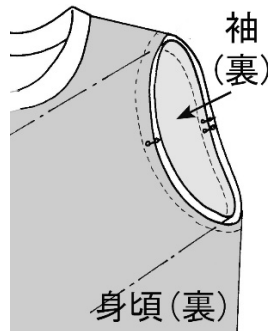
6.袖下を縫い合わせます。

袖下を中表にして合わせ、筒状になるように縫い合わせます。



7.袖と身頃を縫い合わせます。

袖を身頃の中に入れて、中表になるように合わせ、縫い、縫い代は、後袖側に倒します。



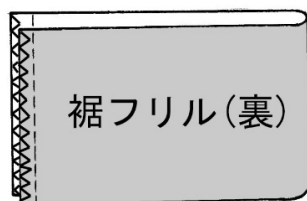
8.裾と袖口のリブを縫い付けます。

裾フリルデザインの縫い方手順

基本の縫い方手順 1~7 までを行います。

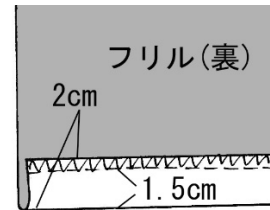
8.裾フリルを作り、縫い付けます。

- ①両端の縫い代を端処理します。縫い代は割ります。
- ②裾フリルを中表にして、輪になるように縫い合わせます。
フリルを「わ」裁ちされなかった方は、両サイドを縫い合わせて下さい。



③フリルの裾を端処理します。

アイロンで 2 cm幅で折り上げ、端から 1.5 cmの辺りをミシンで押さえます。
ダブルステッチにされても構いません。



④フリルの上端にギャザーを寄せます。

- 1.縫い代内に、粗目の目でミシンを 2 本かけます。糸は、後から引っ張り易いよう、少し長めに切ります。
- 2.身頃と中表になるように合わせ、上糸か下糸のどちらかを 2 本まとめて両端から引っ張り、身頃の合印と合わせながら縮めます。
縮めたら、上糸と下糸の 4 本をまとめて結び、ギャザーが伸びるのを防ぎます。

⑤身頃とフリルを縫い合わせます。

縫い代は 2 枚一緒に端処理をして身頃側に倒し、表からコバステッチで押さえます。



ステンシルの方法を、YouTube で公開しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=pJp1TmGO2HA&feature=feedu>



「自作ステンシルシートの作り方とステンシルの仕方」です。

よければ、ご覧ください。

※公開は予告なしで終了する場合があります。

※ステンシルに関する方法などはサポート外となっていますので、ご了承ください。

